

<白金標準、2大リスクを織り込み 4400 円回復へ・・・>



(出所：オアシス)

日銀金融政策決定会合、ECB 理事会を経て市場はFRBの利下げ時期に焦点を移している中で、景気商品の白金価格は中国の株価の動きに連動した動きを見せている。特に年始から中国株は市場の思惑に反して下落基調を続けている。特にダボス会議では中国の李強首相は大規模の経済対策を実施しなくても中国は5.2%の経済成長を行なったと発言したが、皮肉にも中国本土株のCSI300指数が5年ぶりの安値まで下落している。それを受け李強首相が議長を務める国務院に対して株価対策を指示し、中国人民銀行も異例の預金準備率を昨年9月以来の0.5%の引き下げを独自に発表し、市場に20兆円規模の資金の還流を促している。その事から白金標準先物は、一時4253円まで下値を模索しながら週末には4370円まで急反発を見せている。特に今週は29日に香港高等法院で中国恒大集団の清算申し立て審理が行われる予定であり、30日はユーロ圏GDPの発表を控え、中国不動産開発会社の破綻リスクとユーロ圏の景気後退リスクが控えており、この2つのリスクを乗り切る事が出来たら、4400円を超える値動きに結び付くと思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルは下げ止まり強さを示唆し、RCIでも短期が下げ渋り、長期は切り上げるなどテクニカルは強さを示しており、4400円へ向けた戻りを示唆していると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 1 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2024 年 1 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>